

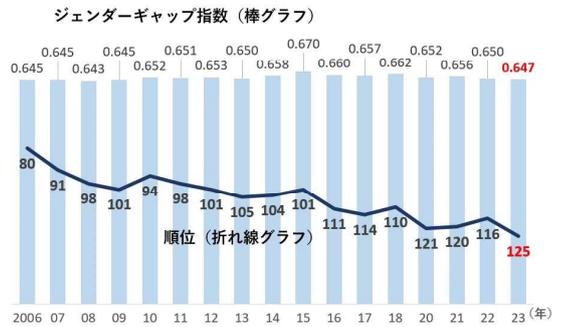
お産 & 子育てサポート

発行・編集
お産 & 子育てを支える会
代表 齊藤 智 孝
編集者 東 直 美
TEL 090-7103-2240



日本のジェンダーギャップ指数 125位 にダウン！！

世界経済フォーラム（WEF）が毎年行っている、男女格差の現状を各国のデータをもとに評価した「Global Gender Gap Report」（世界男女格差報告書）の2023年版が先日発表されました。日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中125位と前年の116位より大きくダウン。左のグラフで示す様に2006年の公表開始以来、最低です。2006年度日本はフランスやイタリアと肩を並べるレベルでしたが、今年度はフランスは40位、イタリア79位と大きく差が開きました。近年日本も男女差は少し改善しているのかな・・・と感じてはいましたが、世界は男女差をなくすための努力を着々と行なっていたようです。



* <https://www.asahi.com/sdgs/article/14936739> 参照

ジェンダーギャップ指数は「政治・経済・教育・医療」の4つの分野の調査が元になっています。日本は政治が世界最低クラスの138位、経済は123位、教育47位、医療59位と政治と経済の分野が大きく足を引っ張っています。国会議員や閣僚に女性が占める割合は低く、女性の首相も未だに存在せずです。先進7カ国と呼ばれる「G7」では最下位、東アジア・太平洋地区19カ国中でも同じく最下位なのです。政治家や閣僚はこの状況をどう考えているのでしょうか？経済の分野でも同じく、経済協力開発機構（OECD）の比較によると、日本の女性役員比率は15.5%。日本を除くG7諸国の平均（38.8%）やOECD諸国の平均（29.6%）と比べ低水準にとどまっており、所得面の男女差もまだまだ解消されていません。「世界の金融市場では投資判断の基準として企業の多様性を重視する流れが強まっており、日本企業の競争力低下を招きかねない」とささやかれているとか。「日本人は優秀」「経済大国」と称されたのは過去の栄光、悲しいですが今や後進国になりつつあるように思います。

お産を経験して得たものは・・・

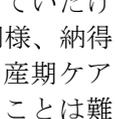
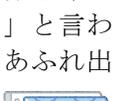
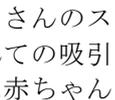
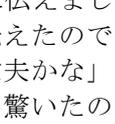
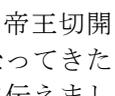
3人のお産体験談特集

「自分の思いを伝えられたお産」Aさん

正期産に入ってお腹の赤ちゃんが降りてこず、医師から赤ちゃんの頭が大きいかもしれないからレントゲン撮影を勧められた時、本当にそれが必要なのか、その当時知り合った地域のM助産師さんに相談にのってもらい、レントゲンを受けることを待ってもらいました。予定日を過ぎた時点で入院するように言われた時もまたM助産師さんに相談して41週まで待ってもらうことにしました。結果41週になっても産まれず、入院して陣痛誘発剤を使ってのお産となりました。

42歳で初産婦のハイリスクを案じて私は病院での出産を選びました。バースプランは自然に産みたい、産後は赤ちゃんと一緒にいたい、完全母乳にしたい等書きました。いずれも病院出産では叶わないことでした。病院にしてみれば面倒くさい妊婦だったでしょう。妊婦健診の度に色々質問し、そのつど病棟の助産師が外来に降りてきて対応してくれました（そのようなことは珍しい）。自然なお産のためによく歩きましたが、残念ながらお産になる兆しはなく、41週0日で入院1日目にバルンを使い子宮口を開ける処置をし、2日目から陣痛誘発剤が始まりましたがなかなかお産は進みま

せん。3日目には自然破水した後も効果的な陣痛にならず、その日もお産になりませんでした。まる2日間の誘発剤で思う以上に体はヘトヘトになり、体力が残ってなくて、それを自覚したとき「ここまでやってきたけど、もう帝王切開でお産した方が良いかな・・・」と思うようになってきたのです。4日目の朝一番、自分の思いを医師に伝えました。医師こそがそれを望んでいると思って伝えましたが、医師からの返事は「半々ぐらいで大丈夫かな」と帝王切開を勧められませんでした。とても驚いたのと、その言葉に励まされて、最終的にはたくさんのスタッフ（医師や助産師、看護師等）に囲まれての吸引分娩になりました。吸引でロケットのように赤ちゃんが飛び出てくれたこと、皆に「おめでとう！」と言われたこと、医療スタッフへの感謝の気持ちがあふれ出てきたのを覚えています。生まれた赤ちゃんの酸素状態が不安定でNICUに連れて行かれる時には「嫌です。私と一緒にいる方が元気になる！」と言いました（無理だと解っていたけれど、ホントにそう思ったので）。入院中も同様、納得できないことは伝えました。現在の病院の周産期ケアは個々の話を聞いて希望にそえる対応をすることは難



しいかもしれません。けれどお産はそれぞれに個性があり、人それぞれ違います。初めての出産は解らない事ばかりでした。その中で話を聞いてくれて、心の伴走をしてくれた専門家の助産師さんの存在は母になる私を成長変化させてくれました。出産～産後の周産期を終えたいま、バースプランのようにはならなかったけど、自分らしいお産だったと満足しています。

親との軋轢 ヨロイからの解放 Bさん

宗教者の家に生まれ表向きは良き家族を演じているが、家の中はぐちゃぐちゃ状態、兄弟は不登校、親は信仰の教えを子育てや生活にも100%取り入れ押しつけ、幼少期から苦しかったんです。そんな中で育つと親に気に入られるように、喜んでもらえるようにと常にお利口さんで、親が満足するような子どもを演じないといけなかった、本当の自分を消し、感情をなくさないといけなかったんです。人と距離を置き、常にヨロイをかぶり、いなくなりたい、死にたいと思う人生でした。そんな育ちの中で大人になると、いつもヨロイをかぶり仕事ができる人を常に演じていたと思います。



妊娠したときも、出産は何時何分に生まれるのかわかる帝王切開をためらうことなく選んだんです。こうすることで仕事がいっまで続けられて、いつから復帰できるかもはっきり解るので。でも、妹は私とは真逆で、助産院で出産したのです。妹に助産院につれて行かれた時に思ったのは「何もない(医療器械等)普通の家で産むなんて、理解できない」と思ったのを覚えています。



産後は重たいもの(赤ちゃん)が体から出てきて横にいるって感じで、可愛いと思えず母親でなかったと思います。でも、子育ても完璧をよそおい、仕事が始まっても布おむつを使い、搾乳した母乳を冷凍して保育園に持って行ったりと。そうやって完璧を演じて育てた子が保育園時になった頃、突然自分で自分の頭を叩き出すという異常行動をやり始めたことがきっかけとなり、仕事を辞め、自分を見つめ直し向き合い、子どもとも向き合うことをしていくうちに、自分の親とも向き合えるようになっていったんです。



第2子を授かったときは、お腹の子にどうしたいか聞きながら、産み方から考えました。妹が出産した助産院のA助産師に相談し、身体を作り、伴走してもらいました。下から産めるよう頑張ったんですが叶わず。今回も帝王切開になりました。

たが、A助産師さんに伴走支援をしてもらえた事で、あきらめないこと、努力することを学べ良かったと思っています。

楽しかったお産で子どもを信じる力 Cさん

初めての妊娠は流産。本音を言えば、仕事を辞めたいからという理由で妊娠を望んでいたの、妊娠することはそう言う気持ちで向かうものではないと実感しました。最初の妊娠の時の対応がしんどくて妊娠はあきらめていましたが、仕事を自分で辞めると決めたら、現在の息子がお腹にやってくる、次の仕事は子育てだと理解しました。



知り合いの助産師に勧められ、A助産師主催のお産の勉強会「お産塾」に参加。お産に関する色々な事を学ぶなか、何も知らなかったことにショックでした。A助産師には気軽に相談することができ、助産院での出産を決めました。そんな妊娠期間が人生の中で一番元気だったように思います。助産院で出産した先輩お母さんから「お産が楽しかった」と聞いたことが印象的で、今でも耳に残っています。不安が強かった私は、その言葉でほっとできたし、不安も減っていきました。

いざ自分のお産が始まると、出産前に何度も繰り返したお産のイメージトレーニングやお産塾、本での学びが役に立ち、「今はこの時」「これこれ」と自分の中でお産の進みが手に取るように感じられ、出産がとても楽しかったのです。子どもがでてきた瞬間、感動で泣くよりも笑っていました。A助産師さんも普段は存在感のある方ですが、お産になると存在を消すように黒子に徹して下さり、必要時に適度に手を差し伸べてくれたのでお産がとても心地よかったです。赤ちゃんとの共同作業であるお産をじっくり体感させてもらえる環境づくりに感謝しました。



妊娠中お腹の子と向き合い、自分の力で産んだ出産の経験を通して、私は自分を信じることができるようになりました。子育ても子どもに合わせて待つことや、忍耐を養うこと、立ち止まることができるようになってきました。今、子どもは不登校ですが、元気で毎日過ごしており、歩む道は普通(多くの人)とは違うけれど、子どもには生きる力があると思っていますので、子どもを信じて共に歩いていこうと思います。子どもを信じることは妊娠出産を通じてお腹の子から気付かせてもらったことと同じだと、今振り返っても強く感じます。



<p>7月9日(日)10:00~ 「おしえて はったつやさん」 講師 北原辰也氏 場所 野洲コミセン兵主 申し込みは osanko.com/contact より</p>	<p>おっぱい塾 各10:00~ 11日(火) はちはび広場 25日(火) 水口まるーむ 27日(木) お土コミセン</p>	<p>セルフレ整体トレーニング 10:30~産後・13:00~産前 21日(土)13:30~ 22日(日)13:30~ M&Aバレンタイン 25日(火)10:00~ すつびまんぶく会 近江八幡ハチバチ広場</p>	<p>お産塾妊娠中の身体づくり 18日(火) 15日(土)13:30~ 14日(金)10:30~ 子育てパンサー「母乳の話」 13日(木)10:30~ 鍼灸の日 11日(火)10:00~ 10日(月)10:30~ ベビーマッサージ 8日(土)13:30~ しあわせお産相談会 4日(火)10:30~ ママハウス 2日(日)7:00~ 太郎坊に登る会</p>	<p>七月の予定</p>
--	--	--	--	---------------------

